

# 四国大学 第5回 富士正晴 全国高校生文学賞

## 趣旨

徳島出身の作家、富士正晴は島尾敏雄らと同人誌『VIKING』を創刊し、戦後の文芸の復興に力を注ぎました。後に県歌を作詞するなど徳島と深いかかわりもあります。本賞は富士正晴の文学的功績を顕彰し、新たな文化の担い手となる若者の文学的才能の開花を促す目的で創設されました。現在、世界を取り巻く状況はAIの発展や国際紛争などにより、未来の予測が難しくなっています。そんな時代を生きる皆さんの思いを、文芸作品という形でぜひ表現してもらいたいと思います。

四国大学 学長 松重和美



## 対象

### 高等学校在學生

文芸部誌に掲載された**個人の小説作品**。もしくは**個人の小説作品**を応募することも可能です。  
(A4用紙に縦書きで印字するか、市販の原稿用紙で応募してください。)

## 応募規定

2023年10月1日以降に発行された**文芸部の部誌**を**1校につき1冊**お送りください。応募いただいた文芸部誌は返却できません。他の文芸賞に応募した文芸部誌でも本賞に応募可能です。

裏表紙の応募用紙に必要事項を記入してください。

### ◎ 文芸部誌での応募

文芸部誌の表紙の裏に糊で貼り付けて送付してください。

### ◎ 個人での応募

原稿の一番上に応募用紙を綴じて送付してください。個人での応募の場合は、作品ごとに担任の先生に署名いただいた応募用紙を添付してください。

応募作品は複数でも構いません。複数の場合、応募用紙をコピーしてご使用ください。

※無断転載、無断流用は禁止します。※類似作は受賞を取り消す場合もあります。

※文芸創作を通して高校生個人の情操を培うことを目的としているので、提出作品にはChatGPTなど文章生成機能を持ったAIは使用しないでください。受賞後であっても、AIの使用が認められた場合は賞を取り消します。また受賞後「四国大学分野別入試」を受験し、本学に入学後にAIの使用が認められた場合は、奨学生の資格を取り消します。すでに特別奨学金が給付されていた場合は、その返還を求めます。

パンフレット  
データ版は  
こちら



## 賞

大賞  
1点

優秀賞  
3点

奨励賞  
6点

佳作  
10点

◎ 大賞、優秀賞、奨励賞の受賞者には、**四国大学分野別入試(文芸部門)A区分の受験資格**が与えられます。本入試を受けて四国大学に入学されますと、**毎年80万円の特別奨学金(返還義務無し)**が4年間給付されます。

◎ 佳作の受賞者には、**四国大学分野別入試(文芸部門)B区分の受験資格**が与えられます。本入試を受けて四国大学に入学されますと、**毎年40万円の特別奨学金(返還義務無し)**が**4年間給付**されます。※このパンフレット記載の要件や奨学金の金額は、令和7年度入学生に限り適用します。次年度以降については見直しを検討中です。

◎ 大賞については、受賞者の言葉と受賞作品を徳島文学協会発行の**文芸雑誌『徳島文學』**に掲載します。

募集  
期間

2024年7月12日(金)~10月10日(木)

(当日の消印有効)

審査

文芸部誌の小説作品および個人の応募作を対象として審査し、最終選考に残った作品について四国大学にて各賞を決定します。

最終審査員

阿部 曜子(四国大学文学部長)

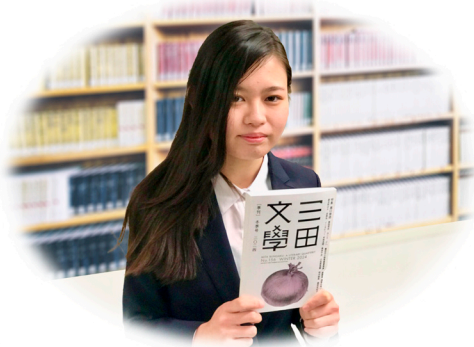
佐々木 義登(四国大学文学部 日本文学科教授)

館 健一(四国大学文学部 日本文学科講師)

審査  
結果

2025年1月に受賞者へ通知します。

※四国大学富士正晴全国高校生文学賞の前身である三好市主催の富士正晴全国高等学校文芸誌賞で、個人小説部門の四国大学学賞優秀賞を受賞した石澤遥さんは、卒業後、四国大学文学部日本文学科へ入学し、1年時に第19回「とくしま文学賞」小説部門最優秀賞、3年時に第40回「織田作之助青春賞」、4年時に第30回「三田文学新人賞」佳作を受賞しました。



〒771-1192

徳島県徳島市応神町古川

四国大学文学部 日本文学科「富士正晴 全国高校生文学賞」係

応募に関するお問い合わせ

日本文学科 佐々木 義登 e-mail y-sasaki@shikoku-u.ac.jp

主催 四国大学

入試に関するお問い合わせ

四国大学入試課 TEL.088-665-9908

協賛 徳島文学協会 <https://www.t-bungaku.com>

## 作家 富士 正晴とは

富士正晴は大正2年10月に徳島県三好郡山城谷村に生まれました。大正6年には一家で朝鮮半島に移住、大正10年、8歳の時に帰国し神戸に住みました。17歳で京都第三高等学校(現・京都大学)理科に進学しますが文学に目覚め、昭和7年には野間宏らと同人雑誌『三人』を創刊します。

昭和19年に召集令状を受け中国大陸を転戦し、昭和21年5月に復員しました。その後昭和22年10月に島尾敏雄らと同人雑誌『VIKING』を創刊、高橋和巳、庄野潤三、津本陽、久坂洋子らが同人として参加しました。

昭和26年に「敗走」、昭和29年に「競輪」、昭和40年に「徴用老人列伝」で芥川賞候補、昭和39年には『帝国軍隊に於ける学習・序』で直木賞候補に、昭和43年には『桂春団治』で毎日出版文化賞を受賞します。『たんぽぽの歌』は「豪姫」と改題され勅使河原宏監督により映画化もされました。

昭和26年以降、昭和62年に亡くなるまで大阪茨木市の竹林に囲まれた家屋に暮らし、「竹林の隠者」とも呼ばれました。詩人としても活躍、一方で彩墨画や木版画なども制作し多彩な才能を発揮した芸術家でもありました。



撮影/藤本巧 提供/徳島県立文学書道館



四国大学 第5回 富士正晴 全国高校生文学賞

応募用紙			
※太枠内に必要事項をご記入ください。			
ふりがな		発行No.	第 号
部誌名		発行年月日	年 月 日
ふりがな			
学校名			
学校の郵便番号	〒		
住所			
ふりがな	学校or顧問のTEL・FAX		
担当顧問氏名	担当顧問のMailアドレス		



四国大学 第5回 富士正晴 全国高校生文学賞

応募用紙			
※太枠内に必要事項をご記入ください。			
ふりがな		学年	年
執筆者氏名			
ふりがな			
学校名			
学校の郵便番号	〒		
住所			
ふりがな	学校のTEL・FAX		
担任教員氏名	学校のMailアドレス		

人が集まる「人」をつくる、大学。

